

名古屋大学<<未来社会創造機構・特任教員または研究員>>公募要領

1	募 集 件 名	特任講師、特任助教または研究員の公募						
2	所 属	名古屋大学未来社会創造機構						
3	募 集 内 容	<p>[職務内容]</p> <p>■ JST 共創の場形成支援プログラム「セキュアでユビキタスな資源・エネルギー共創拠点」において、未利用資源・エネルギーの利活用に資する技術開発を行う。本研究では、アンモニアの電解合成セルを開発する。具体的には、アンモニアの電解合成触媒開発・デバイス設計の研究に従事していただく。</p> <p>[勤務地] 名古屋市千種区不老町</p> <p>[募集人員] 特任講師、特任助教または研究員 いずれか1名</p> <p>[着任時期] 2023年4月1日以降のできるだけ早い時期</p>						
4	募集研究分野	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%;">(大分類) 総合理工</td> <td style="width: 50%;">(小分類) ナノ・マイクロ科学</td> </tr> <tr> <td>(大分類) 工学</td> <td>(小分類) プロセス化学・化学工学</td> </tr> <tr> <td>(大分類) 化学</td> <td>(小分類) 複合化学</td> </tr> </table>	(大分類) 総合理工	(小分類) ナノ・マイクロ科学	(大分類) 工学	(小分類) プロセス化学・化学工学	(大分類) 化学	(小分類) 複合化学
(大分類) 総合理工	(小分類) ナノ・マイクロ科学							
(大分類) 工学	(小分類) プロセス化学・化学工学							
(大分類) 化学	(小分類) 複合化学							
5	勤 務 形 態	<p>常勤</p> <p>任期：2024年3月31日まで(予算の状況・勤務成績によって更新の可能性有り。ただし最長2032年3月31日まで)。</p>						
6	応 募 資 格	<p>[必要な特定分野の資格・条件(学位などを含む)・専門性等の詳細]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 関連する分野で博士号を取得(見込み)の方。 ・ 電気化学、触媒化学、化学工学、無機材料化学、物理化学の専門知識を持つ方。反応は問わないが、電気化学に関連する触媒の開発に研究経験がある方が望ましい。 ・ 責任感があり、他の研究者と積極的にコミュニケーションを図り、情熱を持って研究に取り組んでいただける方。 						
7	待 遇	<p>[採用後の待遇(給与、勤務時間、休日、雇用期間、保険等)]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://education.joureikun.jp/thers_ac/act/frame/frame110010928.htm ・ 給与は本学において定める年俸制とする。 ・ 祝日・年末年始休日、有給休暇設定あり。 						
8	応 募 期 間	2022年11月17日 から 2022年12月16日(必着)						
9	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	<p>[応募書類(提出方法)]</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 履歴書(書式自由、写真添付、連絡先とメールアドレスを明記) ② 研究業績リスト(学会誌などの論文、国際会議、著書・解説、特許、受賞などに分類) ③ 主要論文3編以内のPDF ④ これまでの研究の内容(A4用紙2項以内) ⑤ 本プロジェクトに対する意気込み 						

		<p>⑥ 照会者 2 名の方の連絡先(氏名、所属、連絡先)</p> <p>⑦ 類型該当性の自己申告書(下記 URL より様式をダウンロードください。)※ https://nuss.nagoya-u.ac.jp/s/zXHTc8eBAB8Hmcs JREC-IN Portal の「Web 応募」機能を使用し、上記の書類を圧縮するなどして 1 つのファイルにまとめて応募してください。なお、お送りいただいた書類は選考のみに使用しますが、返却はしませんのでご了承ください。</p> <p>[選考内容] 書類審査のうえ、随時、面接を行います。面接の際の旅費は自己負担とします。</p> <p>[結果通知方法] 選考結果はメールで通知します。</p> <p>[問い合わせ連絡先] 〒464-8603 名古屋市千種区不老町 名古屋大学 大学院工学研究科 化学システム工学専攻 (兼)未来社会創造機構 脱炭素社会創造センター 教授 永岡勝俊 nagaoka.katsutoshi@material.nagoya-u.ac.jp</p> <p>※2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」(外為法)に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。 これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。</p>
10	そ の 他	<p>① 名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会貢献、人物を含む)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。</p> <p>② 提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。</p> <p>③ 応募書類は、本選考委員が責任を持って処分し、返却しません。</p> <p>④ 面接に要する交通費は支給しません。</p>